

# 資 料

2015 年 2 月 25 日

日 本 銀 行

# 1. 日銀ネットとは

- 日本銀行と金融機関等との間の資金や国債の決済を担う、わが国決済システムの基幹インフラ。

▶ 1 営業日あたり平均の決済件数 (2014 年)

- ▶ 当座預金決済 約 6 万 8 千件
- ▶ 国債決済 約 1 万 9 千件

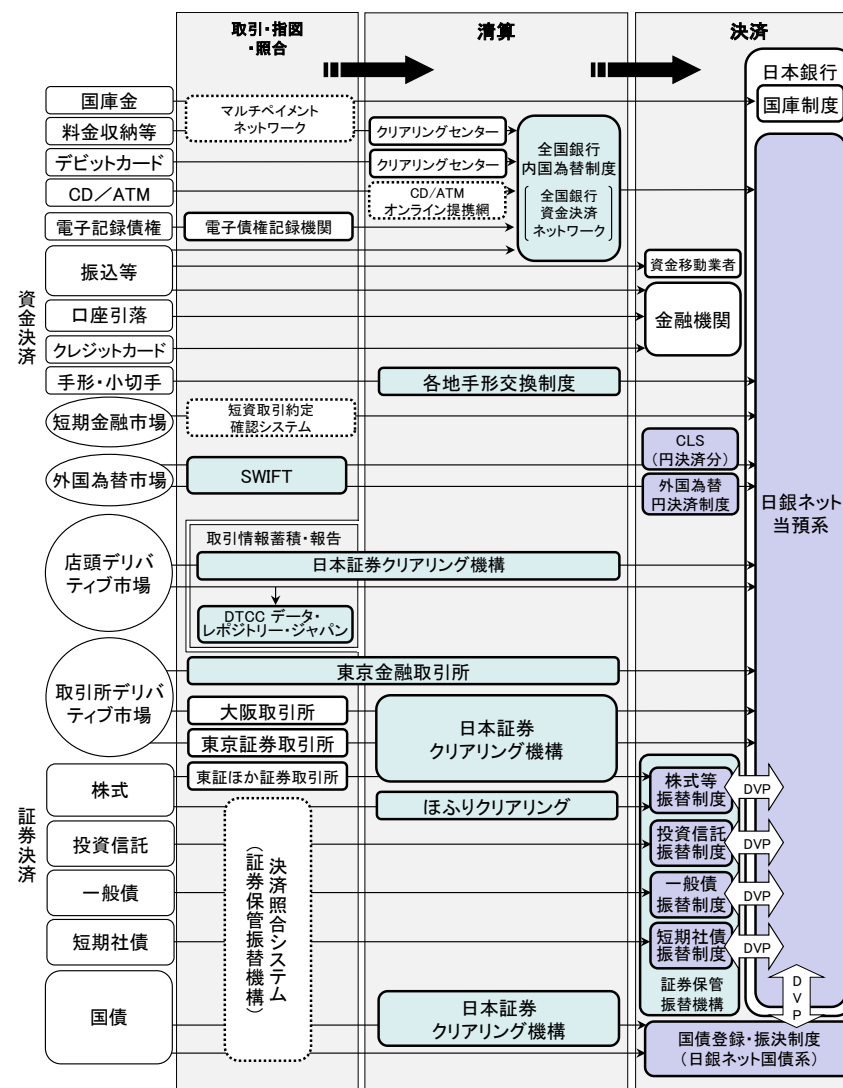
▶ 1 営業日あたり平均の決済金額 (同)

- ▶ 当座預金決済 約 125 兆円
- ▶ 国債決済 約 101 兆円

▶ 利用する金融機関等の数 (2014 年末時点)

- ▶ 当座預金決済 474 先
- ▶ 国債決済 296 先

わが国の主要な決済システム (注)



(注) 点線で囲まれているシステムは取引の一部で利用されているもの。

## 2. これまでの主な取り組み

1988年 稼働開始（当座預金取引）

1989年 外国為替円決済\*

1990年 国債決済

1994年 国債DVP決済（資金と証券の同時受渡し）

1999年 金融調節等入札連絡

2001年 当座預金取引・国債決済のRTGS（即時グロス決済）化、与信担保関係取引

2002年 国債系オペ（現先取引）

2003年 国債系オペ（国債売買取引）

2008年 流動性節約機能の導入、外為円決済の完全RTGS化

2011年 大口内国為替決済のRTGS化

\* 制度の運営主体は全国銀行協会。

### 3. 新日銀ネット構築のねらい

#### 現行日銀ネットの課題

システムの設計思想や基本技術は、稼動開始（1988年）以来、ほぼ不変

⇒ 技術進歩を円滑に取り入れることが次第に困難となってきた。

⇒ システムが複雑化するなど、環境変化に柔軟に対応していくことが徐々に難しくなっている。

⇒ 設計思想（システム構造、プログラミング手法等）が、ニーズに十分に答えられなくなりつつある。

#### 日銀ネットを巡る環境変化

金融のグローバル化や情報技術革新の進展

- コスト・リスク削減の観点等から、標準化や、システム間の相互接続を通じ取引から決済に至るまでのプロセスを一貫処理する動き（STP化）が進展。
- クロスボーダーでの決済システムの結び付きの強まり。

#### 新日銀ネットの基本コンセプト

①最新の情報処理技術の採用

②変化に対して柔軟性の高いシステムの構築

③アクセス利便性の向上

《新日銀ネットで採用した新技術の例》

	新日銀 ネット	現行日銀 ネット
プログラミング言語	Java	PL/I
通信プロトコル	TCP/IP	独自
電文フォーマット	XML	独自

## 4. スケジュール

- 新システムへの移行を円滑に進める観点から、2段階に分けて開発。

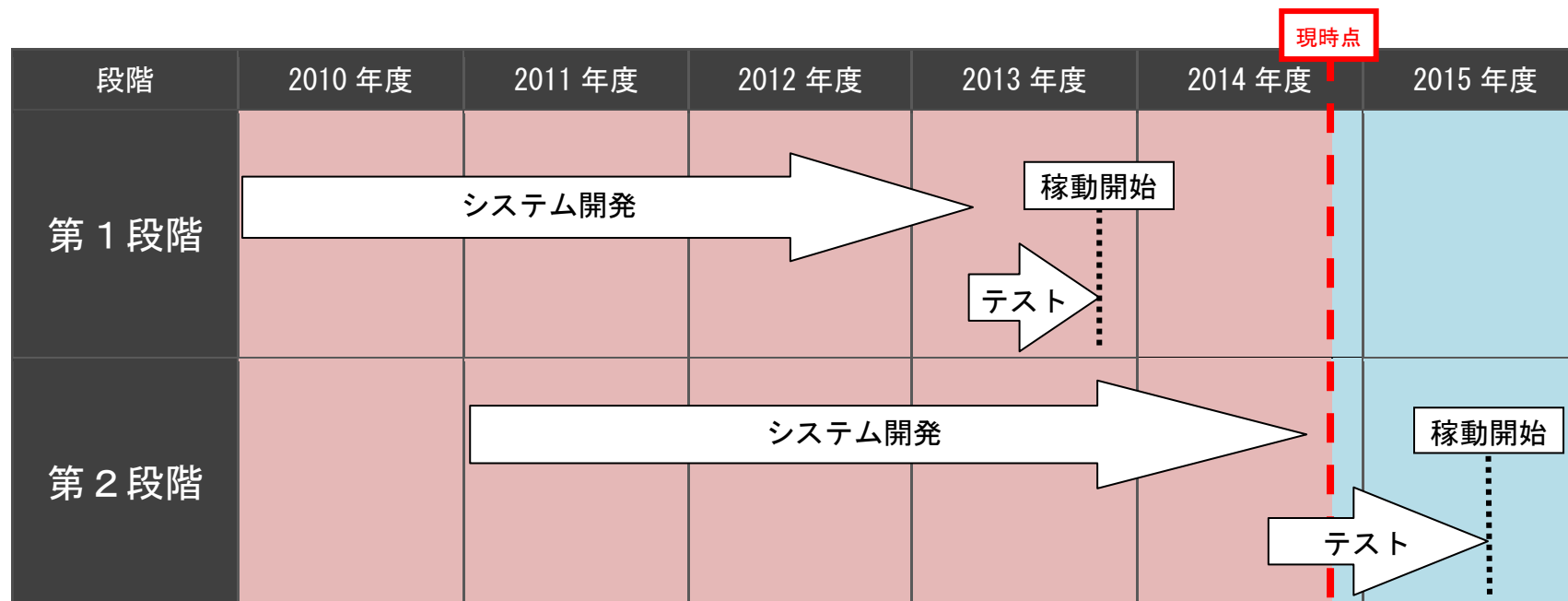
**第1段階**：2014年1月6日に稼動開始済

- システムインフラの基幹部分の構築
- 対象業務：オペ、国債の発行入札等

**第2段階**：2015年10月13日に稼動開始（候補日）

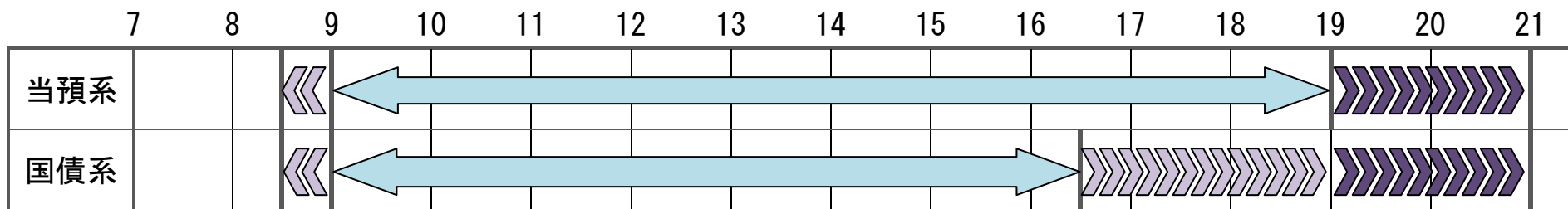
- 対象業務：当座預金取引、国債決済、与信担保関連取引等

- 本年3月から、第2段階開発の総合運転試験を行い、本年10月に全面稼動開始を予定。



## 5. 新日銀ネットを活用した取り組み

- 稼動時間は、当預系（資金決済）・国債系（国債決済）とも 21 時まで 拡大する予定。



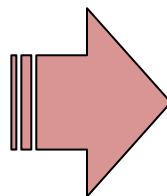
: 現状   
 : 第 2 段階稼動開始（候補日：2015 年 10 月 13 日）以降拡大   
 : 2016 年 2 月 15 日（候補日）以降拡大予定。  
 いずれも通常日の例。

### ≪ 「新日銀ネットの有効活用に向けた協議会」\* における議論の概要 ≫

\* 日本銀行が設置した、日銀ネット利用先金融機関 16 先、業界団体 9 先をメンバーとする協議会

#### 〔環境変化〕

- ・ アジア等への本邦企業の進出
- ・ 本邦金融機関の海外貸出等の増加
- ・ 非居住者の日本国債保有の増加
- ・ 店頭デリバティブ等の国際的な規制の導入



#### 〔日銀ネットでの対応〕

稼動時間を拡大すれば、海外市場との決済時間帯の重なりが増えることで、クロスボーダーの資金・証券決済が迅速化



決済リスク削減、資金・担保効率向上を通じ、わが国決済全体の安全性・効率性向上や金融市場の活性化、金融機関の企業向け決済サービス等の高度化にも資する。

（夜間における活用の例）

#### ① グローバルベースでの日本国債の有効活用

→ 欧州市場での日本国債を担保とした外貨調達、欧州の清算機関・取引相手とのデリバティブ担保の機動的な受払等

#### ② 海外との円建て顧客送金の迅速化

→ アジア夕刻や欧州午前中の本邦企業の海外拠点等からの送金依頼の当日中処理、資金のプーリング・サービスの提供